

平成27年 第7回 定例教育委員会 会議録

招集日時	平成27年7月23日 午後 6時30分						
開会日時	平成27年7月23日 午後 6時45分						
閉会日時	平成27年7月23日 午後 7時46分						
開催場所	ふじみ野市役所増築棟3階災害対策室						
教育長	朝倉 孝						
書記	小川 正樹						
委員出席状況	席番	氏名	出席別	説明のため出席した者			
	1	富田信太郎	出	教育部長 中野 則之	出	学校給食課主幹 佐藤友直	出
	2	塩野 好一	出	総務課長 皆川 恒晴	欠	学校給食課主幹 原田 準一	出
	3	山城いづみ	出	学校教育課長 三宅 雅生	欠	上福岡図書館長 宮井さゆり	出
	4	伊藤 英夫	出	学校給食課長 忽滑谷 敏之	出	大井中央公民館長 三上 隆夫	出
				社会教課長 小林 清	出	上福岡歴史民俗資料館長 原口 雅樹	出
				総務課主幹 新井 操	出	学校給食課係長 大曾根 隆	出
				学校教育課主幹 山崎 直樹	出		
傍聴人数			0人				
会 議 概 要							
議 事 等							
<p>【公開】</p> <p>第45号議案、「ふじみ野市教育振興計画 策定委員会委員を委嘱することについて」 (可決)</p> <p>報告事項、「専決処理に関する報告について (平成27年度一般会計補正予 (第2号) 案の見積りについて」 (承認)</p>							
(18時45分)	<p>平成27年第7回定例教育委員会会議の開会を宣言。</p> <p>ただ今から、平成27年第7回定例教育委員会会議を開催いたします。</p> <p>まず始めに、第6回定例教育委員会会議録の承認についてです。</p> <p>事前に各委員へ配られておりますが、何か確認事項等はございますでしょうか。</p> <p>(確認事項なし)</p>						
教育長							
各委員							

<p>教育長 各委員 教育長</p>	<p>特に無いようですので、この内容で承認してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは、会議録につきましては、この内容で承認といたします。後ほど、各委員の署名をお願いします。</p> <p>次に、何点か報告をさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先週17日に各小中学校の第1学期の終了式を迎えることができました。その後、各小学校では林間学校へ出発し、明日最後の学校が出発し土曜日には終了します。中学校では、夏の大会の地区大会が行われ、進路の面談、補習が実施されています。 ・公民館図書館では、子供たちの自習の場所を開設し昼間は子ども達が利用しています。 ・再来週から小中学生対象に寺子屋学習塾を開催します。小、中学生対象にそれぞれ10日間実施予定で、小学生が118人、中学生が24人の応募がありました。教員OB、臨時的教員、文京学院生がボランティアで小学生を教えています。なお、中学校の寺子屋については、月1回入試までの間、主に土曜日に補習を実施予定です。 ・市内中学校でいじめの報告が1件あり、保護者だけでなく関係機関と連携を取りながら加害者、被害者生徒に対しての指導を行っています。 <p>以上、いくつか報告させていただきましたが、確認事項等はございますでしょうか。</p>
<p>各委員 教育長</p>	<p>(確認事項なし)</p> <p>よろしいですか。</p> <p>それでは議事に入ります。</p> <p>本会議に提案させていただく議事を申し上げます。</p> <p>第45号議案、「ふじみ野市教育振興計画策定委員会委員を委嘱することについて」</p>
<p>各委員 教育長 教育部長</p>	<p>報告事項、「平成27年度一般会計補正予算 第2号 案見積りの専決処理に関する報告について」</p> <p>以上、議案1件、報告事項1件でございます。</p> <p>教育部長から提案理由をお願いします。</p> <p>議案書に基づき提案理由を説明。</p>

教育長	始めに、第４５号議案を議題といたします。
	本議案の説明を、教育部長よりお願いします。
教育部長	先月の教育委員会会議にて策定委員１２人中１１人の議案を提案し可決賜りました。本日は第１号委員の学識経験を有する委員２人のうち、残る１人について議案を提出します。文京学院大学人間学部心理学科の教授で伊藤裕子先生です。専門分野は発達心理学、家族心理学、ジェンダー等です。また、タイの青年たちへの奨学金支援活動、ラオスに職業訓練校校舎を送り自立支援活動など広くアジアの国々で教育活動を行っています。推薦にあたり伊藤教育委員にご尽力いただきました。
教育長	この案件について、各委員の皆様から、ご質問がございましたらお願いします。
富田委員	前回１１名、今回１名で、これで定員ということでしょうか。
教育部長	はい、これで定員です。
山城委員	伊藤先生の住所は文京学院大学の住所で、ふじみ野市にお住まいではないのですか。
教育部長	はい、その通りです。
教育長	他に質問はございませんか。
各委員	(質疑無し)
教育長	他に質問がないようですので、お諮りします。
	第４５号議案は原案のとおり決定してよろしいでしょうか。
各委員	(全員賛成)
教育長	賛成総員と認め、第４５号議案は、原案のとおり決定いたします。
	次に報告事項に移ります。
	まず、「平成２７年度一般会計補正予算第２号案見積りの専決処理に関する報告について」の説明を教育部長よりお願いいたします。
教育部長	歳入－上福岡学校給食センター調理員欠員１人分の臨時的任用職員における個人負担分の雇用保険料 ４，０００円の増額補正です。
	歳出－学校給食費の社会保険料１２，０００円、臨時的任用職員賃金６０万６千円の増額は、調理員欠員補充の臨時的任用職員のもの。業務委託料６３７，２００円の増額は献立表の修正、アレルギー対策除去食用献立表作成に伴うシステム改修費です。このうち３１３，２００円は献立の食品原材料

	<p>を表示するための学校給食管理システム改修費です。また、324,000円は卵抜き、乳抜き、卵と乳抜きの3パターンのアレルギー除去食献立システム改修分です。アレルギー除去食は平成28年4月から提供予定です。以上、125万6千円の増額補正です。</p>
教育長	<p>この案件について、各委員の皆様から、ご質問がございましたらお願いします。</p>
富田委員	<p>当初の資料には、小学校施設関係で交付金の記載がありましたが、それが外れた理由はどのようなことですか。</p>
総務課主幹	<p>トイレ改修に対する交付金が不採択となったため、財源内訳変更の補正を行う予定でしたが、財政当局から12月補正で歳出とともに行う方針が示されましたので、今回の補正では上程しないこととなりました。</p>
富田委員	<p>その件につきましては、12月に上程されるということで、わかりました。</p>
教育長	<p>3つのライセンスとは、どのような意味なのかを教えてください。</p>
学校給食課長	<p>卵抜き、乳抜き、卵と乳抜きの3パターンのアレルギー除去食献立を作成するために献立作成ソフトウェアを使用できる権限を表します。現在の献立表作成ソフトはアレルギーに対応した仕様でないため、アレルギーのある子どもと保護者のために案内を別に作成していました。そこで、事務の効率化のため献立システムを改修し、その日の給食食材材料を詳細に表示することで保護者の方にもわかりやすくしたいと考えます。</p>
教育長	<p>他に如何ですか。</p>
塩野委員	<p>現在アレルギー食が必要としている児童生徒数は何人いますか。</p>
学校給食課長	<p>30人です。</p>
教育長	<p>乳アレルギーの子ども達は、代替飲料ですか。</p>
学校給食課長	<p>牛乳の代替食としてお茶で対応しています。</p> <p>はじめは除去食で、その後、代替食にしていきたいと考えます。しかし、乳の場合は、いろいろなものに含まれるため、研究の必要があります。</p>
教育長	<p>また、給食の代わりにお弁当を持参する子どもは何人くらいいますか。</p>
学校給食課長	<p>現在のところ4名です。</p>
教育長	<p>アレルギー除去食が提供されると給食は再開できるのですか。</p>
学校給食課長	<p>卵と乳に限定したアレルギーの子どもには対応できますが、アレルギーの種類が多い場合には対応できませんので、お弁当持参の方はそのままお願い</p>

<p>塩野委員</p>	<p>いしたいと考えます。</p> <p>現在のアレルギー資料提供者が240人とありますが、卵乳アレルギー以外の方がかなりいて、その方々の要望により改修するという理解でよろしいですか。</p>
<p>学校給食課長</p>	<p>そのとおりです。</p>
<p>教育長</p>	<p>他に如何ですか。</p>
<p>各委員</p>	<p>(質疑無し)</p>
<p>教育長</p>	<p>他に質疑等がないようですので、この案件については、これで了承したいと思います。</p> <p>以上で、本日の審議を終了いたします。</p> <p>次に、各課から別件で報告をしておくべき事項がありましたらお願いします。</p>
<p>教育部長</p>	<p>教育振興計画について－6月29日(月)第1回策定委員会開催。委嘱状交付、委員長、副委員長の互選、教育長説明、事務局説明を実施。その後、各委員から意見聴取し、「30年後の地域社会を支える人を作るという意識で教育にあたっている。」などの意見が出て、策定する上で参考としたい。</p> <p>また、現在、アンケート調査中。市民1,000人、児童とその保護者約450人、生徒とその保護者約200人、教員約500人に配布中です。アンケート結果も計画に反映予定です。</p>
<p>教育長</p>	<p>ただいまの報告について、ご意見や質問はございますか。</p>
<p>富田委員</p>	<p>策定委員会の会議録は公開されるのですか。</p>
<p>教育部長</p>	<p>公開予定ですが、方法は検討しています。</p>
<p>富田委員</p>	<p>計画策定委員会で出た意見は教育委員会としても参考になると考えますので会議録をいただけますでしょうか。</p>
<p>教育部長</p>	<p>会議録資料をまとめて情報提供させていただきたいと考えます。</p>
<p>教育長</p>	<p>他にございますか。</p>
<p>各課・館長</p>	<p>(報告事項無し)</p>
<p>教育長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>続いて、次回の定例教育委員会会議についてです。</p> <p>次回は、平成27年8月19日(水)午後6時30分から、場所は増築棟3階災害対策室を予定しております。</p>

<p>各委員 教育長</p>	<p>なお、傍聴人の数ですが、部屋の規模を考慮し5名までとさせていただきますと思いますが、如何でしょうか。</p> <p>(各委員了承)</p> <p>それでは、次回教育委員会会議の傍聴人は、先着順に5名を限度とします。議事の審議は以上ですが、ここで、少しお時間をいただき自由討論として、「岩手のいじめ事件に見る、本市が参考とすること。」について、各委員からご意見を伺いたい。</p> <p>今回の事件を見ての第一の印象は、生徒と担任の間でノートや面談を通して「いじめ」や「死にたい」といったSOSを発信していることに対して、担任が他の先生に相談できずに悩んで抱え込んでいたのか、相談する必要性を感じていなかったのか、不明ですが、その結果ついに、生徒が追い込まれる状況になるまで発覚しなかったようです。この点について、これまで現場を見てきて、非常に違和感があります。これまでの常識であれば、絶対誰かに相談するでしょうし、上司にも相談するはずなのですが、これを外に出してはまずいのではないかという思いが理解できません。そう感じていなかったとしか思えないのです。</p> <p>そうした担任の思いや状態をどのように受け止められたのかを委員の皆様にお聞きしたいのですが、いかがでしょうか。</p>
<p>伊藤委員</p>	<p>私も読みまして、担任の回答がずれているというか、軽く受け流している書き方で違和感を覚えました。悩んでいる文言ではなく軽く受け流していると感じました。そのことを、教員個人の資質としてしまっていていいものか、アンケートなど行うべきことを行わずにいた学校としての取り組み不足のひずみが出てきている気もします。さらに、校長の記者会見での対応の発言が不適切なところもありました。全体がどうなっているのかにも疑問を感じました。</p>
<p>教育長</p>	<p>今、教員一人の資質としていいのかという意見がありましたが、私たちは、あくまで新聞やテレビの報道でしか知りえないところではありますが、他の委員さんは如何でしょうか。</p>
<p>山城委員</p>	<p>私も生徒が「もう死ぬ場所は決まっている。」と言っているにもかかわらず、先生が全く関係のない回答をしているのを見ると、彼の先生に対する感謝の言葉や日頃から彼がそうした言葉を発していて、先生は、それほど重く受け</p>

<p>教育長 塩野委員</p>	<p>止めてはいなかったのではないかと感じました。普通であれば、先生も悩んだり、深刻に対応するのではないかと思いますのですが、そうではなく、「明日も研修頑張ろう。」といった言葉が出てくるのは、この先生の中では、深刻な問題として真剣には受け止めてはいなかったのではないのでしょうか。</p> <p>私もそれは感じました。</p> <p>テレビの報道だけのため真相はわかりませんが、校長先生の会見や事件の経過を見ても違和感があります。ただ、学校の組織は、一般的に鍋蓋式と言って校長、教頭の管理職以外の教員は同じ立場で一人ひとりの先生の責任が重く、今回の場合「死にたい」という言葉があった時に、それを校長や教頭に話す前に教務主任など相談に乗ってもらえる先生が、組織として位置づけられていれば、問題が上席に上がっていくのではないかと思います。今回、本市では、いじめ防止のための組織が立ち上がりましたが、そうした組織の構築が必要ではないかと感じました。</p>
<p>教育長</p>	<p>現場では、報告、連絡、相談の徹底やキーワードに応じた成り行きの想定は言い続けています。裏を返せば、徹底されていない現れです。その出来ない原因を探っていく必要があるのではないかと思います。</p>
<p>富田委員</p>	<p>いじめ防止条例が立ち上がったふじみ野市としては、事の成り行きや原因は注視していかなければいけないと思います。この学校では、平成27年当初にいじめの調査をした結果が、いじめはゼロ件で教育委員会に報告されたとの報道がありました。この調査が、どれほどの危機感を持って行われたのかが気にかかります。また、報告、連絡、相談が気軽に行える環境であったのか、「その程度のことが処理できなくてどうするんだ。」といった雰囲気があるとしたら、できるだけ自分の手の届く範疇で収めようとしてしまうと、それほど大きな問題としてとらえず、上司に相談すると、自身の指導能力不足で評価が下がる等の理由で報告せずに済ませていたとしたら、いじめの報告が少ないほど良いという風潮があるとしたら、本来報告されるべき数字が報告されないのではないかといった心配があります。本市でもいじめ防止の組織体制を構築するうえで参考としなければならない事案であると感じました。</p>
<p>教育長</p>	<p>よく学校に対して、いじめがあることによって評価が下がるのではないかと、そのことが懸念されるため、報告しない、とよく言われます。私が学校で職員に行っていた報告、連絡、相談のポイントとして、報告しないことが教員</p>

自身にとってマイナスになることをよく話しました。いじめに関しても同様で、もし、いじめを学校全体で共有していて、それでも、事件が起これば、学校を統括する校長の責任となります。それが解っていてもやれないということになると、違う所に原因を探っていくと本質が見えてこないと感じます。学校の中はシステムがあるようでないので、最後は人頼みの部分があります。そうでないと運営できない組織となっています。

この先生の場合、報告をすることによって自分が責められるかもしれないというよりも、この先生の資質に依存している部分が大きく、危機感を感じていなかったのではないかと感じました。故に、報告する必要もなければ、隠す必要もないといった感覚だったのではないのでしょうか。

このように学校という所は、一人ひとりの教職員の資質に依存している状況が実態ではないかと感じました。

単にいじめの問題を報道にあるように、隠す体質といったところだけ見ていくと繰り返される気がします。学校の組織自体を変えていかないとこうしたことを繰り返すことになると感じました。ただし、学校も一人ひとりの人間の裁量によって運営していく部分、あるいは、それによって人と人との関係性ができて教育が成立する部分があります。その中で、いかにこうした事件を防いでいくか。これからしっかり考えていかないと、これまでのように誰か悪者がいて、それを集中的に攻撃しても、いじめの問題は解決できません。また、学校、教育委員会、行政を対象にしながら、攻撃してもなかなか本質にはたどり着かないのではないのでしょうか。

今回の事件をこうした見方で見ていく必要があると考えます、

そうしたことも含めて、岩手の事件については、後日報道があると考えます。

やはり、この問題を担任の先生ひとり若しくは、校長先生ひとりを標的にして収めてはいけません。いじめを隠すことが無いということが徹底されているかが重要です。やはり人間は良く思われたいと思うのが当たり前で、「学級運営がしっかりできているね。」と言われたいがために隠すことは考えられなくはありません。先生の個人的な資質に矮小化してはいけないと思います。

どんな小さなことでも報告することを徹底するには時間がかかると思いますので、本市のいじめ防止条例の制定に伴って、それを徹底していただきました。

富田委員

<p>教育長</p>	<p>いと考えます。</p> <p>私も一人の人間の資質に終わらせることだけでは、本質を見誤ると考えます。そうしたことも含めて、全体で見直す必要があると思います。隠すことがリスクになるという意識の徹底の重要性は痛感しています。</p>
<p>伊藤委員</p>	<p>そうは言っても、現場の教員の資質も問題もあるなと思います。いじめを無くすためのマニュアルを緻密に作ったとしても、それを運用するのは、教員一人ひとりで、例えば、今回の場合でも、ノートにそうした言葉が書かれていたらノートのやり取りではなく、直接、会って話をしてみよう、ということにつながると思います。そうしたことが無かったことは、やはり、教員の資質も大きな問題で、今の教員の資質の向上のためには、何が必要か考えなければならないと思います。</p> <p>もう一つは、私はかつて教育相談員の経験がありまして、そのころ、いじめが社会現象となっていた時代で、いじめられた子供が、「死にたい」と相談に来まして、攻撃性を発散させて自信をつけて、卒業していきました。一方、いじめた側の親子については、何ら手立てができないでいました。やはり、そこが元凶で、そこへは学校側がアプローチするしかありません。いじめる子供もむしろ犠牲者かもしれません。家庭環境など様々なことが関連していると考えられます。そうした問題も根が深いと思われまますので、その点も取り組んでいかないと根本的な解決にはならないと思います。</p>
<p>教育長</p> <p>(19時46分)</p>	<p>今回も4人の子供がいじめに関わったと新聞報道がありました。一般の方が4人の子供をどのようなイメージでとらえるのが心配です。</p> <p>また、この件に関しては委員の皆様の意見を聞きながら、教育委員会事務局、学校の方で活かしていきたいと考えます。是非、次回も忌憚のないご意見を伺えたらと思いますのでよろしくお願いします。</p> <p>それでは、長時間にわたりましてご協力ありがとうございました。本日はこれで終了させていただきたいと思います。</p>